

『多摩川流域懇談会』はその活動と運営を円滑にするため、市民部会、企業部会、行政部会等の代表者が集まり、運営委員会を設置しています。およそ月に一回、運営委員会を開催し、「多摩川流域セミナー」に関する話し合いや、外部より学識経験者等を招いての多摩川に関する勉強会などを行っています。

『多摩川流域懇談会』運営委員会は、平成 25 年度には開催 150 回目を数えました。今年度は、多摩川にまつわる歴史文化の観点から人々の多摩川に対する関心を高め、理解を深めることを目的として、歴史に関する専門運営委員会を設置し、活動の幅をさらに広げてゆく予定です。

## 第 155 回多摩川流域懇談会運営委員会 フィールドワーク及び意見交換会 開催報告

日 時：平成 26 年 7 月 14 日(月) 12:30～17:00

場 所：現地見学…①浅川合流点・②多摩大橋周辺

意見交換会…立川市女性総合センター

出席者：現地見学…23 名

意見交換会…26 名

(星野准教授、多摩川流域ネットワーク、京浜河川事務所、東京都、川崎市、多摩市、立川市、大田区他)

### 《概要》

今回の運営委員会では、近年河道の二極化（土丹層の深掘れ、高水敷の樹林化）や外来種の侵入等の課題が生じている⑧空間（生態系保持空間）の現状や課題を共有するために、フィールドワークを行った。また、多摩川で自然再生の研究や活動を実施されている東京農工大学の星野准教授より話題提供をいただいた上で意見交換を行った。

#### 1. 【現地見学①】 浅川合流点（13:00～13:40）

自然再生の取組み（外来樹林対策、人工利用地対策等）に関して説明があった。平成 24 年度にハリエンジュ伐採を実施した区域では、再繁茂が見られたため今年度 5 月に伐根を実施している。参加者からはハリエンジュ伐採時に出た土砂の利用や自然再生後の環境について質問が挙がった。

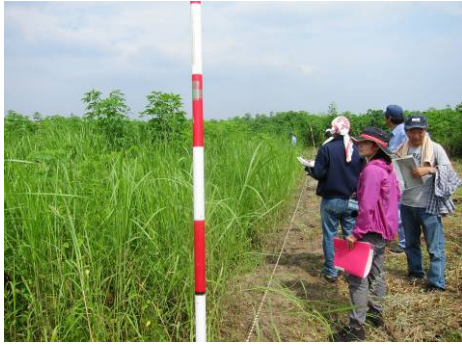


自然再生の取組み説明

#### 2. 【現地見学②】 多摩大橋周辺（14:00～15:30）

自然再生の取組み（オギ原復元作業、ハリエンジュ抑制試験、湿地環境の再生）や外来種の侵入状況等に関して説明があり、参加者からは多摩大橋周辺の本来の環境や今後について質問が挙がった。

また、参加者全員でハリエンジュ幼木の巻き枯らし体験を行った。参加者からは伐採と巻き枯らしによるハリエンジュ抑制への効果の違いについて質問があった他、「⑧空間を維持することは大変」「子どもたちにも巻き枯らしを体験してほしい」などの意見が挙がった。



オギ原復元試験区



ハリエンジュ幼木巻き枯らし体験

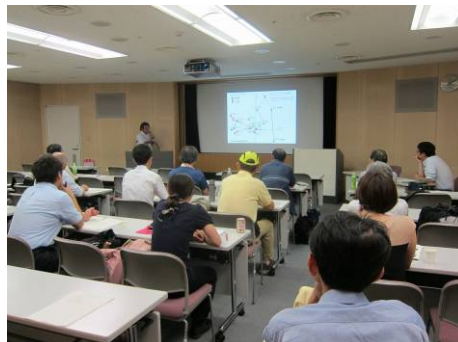
### 3. 【話題提供・意見交換】「生態系保持空間の現状と課題」（15:40～16:45）

星野准教授（東京農工大）より、生態系保持空間の概要と共に、現状や課題、⑧空間で行っている自然再生の取組みについて話題提供をいただいた。

参加者からは「フィールドワークで巻き枯らし体験を実施した区域は、今後どのような環境になるのか。」といった⑧空間の今後に関する質問や、自然再生時の水生生物への配慮に関するご意見が挙げられた。



星野先生による話題提供



会場の様子